

道標ない旅

～「自立」と「共生」を目指して～

南郷中学校

令和2年2月18日(第32号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 葉桜地区への通学路に関する情報をお伝えします。 ◆◆

2月上旬に起こった、逗子市の土砂崩落事故をうけて、葉山町の道路河川課が、危険箇所を点検を行いました。その結果を受けて、シンデレラ階段は通学路として使用することに改めて懸念が示されました。本校も、事故の翌日に安全点検を行いましたので、状況は把握できておりますが、町の町道を主管する道路河川課からは、シンデレラ階段を使用せずに、川久保回り、或いは葉山ステーション坂道回りの迂回を打診されました。

本校においても緊急の調査を行っています。2月12日現在、階段利用者は61名、そのうち通行に多少でも不安感を感じている生徒が13(6,4,3)名でした(欠席者を除きます)。

学校としては、昨年度来、シンデレラ階段の弱点を補うべく、仙光院周辺の通学路の指定を模索してきました。実際、仙光院奥から日の出園脇に出る坂道階段の通学路化が、実現化するまでは、シンデレラ階段を使えればと思っていました。

しかし、逗子の事例も、誰もこんな事態になるとは想像しきれずにいた事を考えると、坂道使用禁止を受け入れるべきなのかなと考えるところです。

シンデレラ階段の弱点とは、主に3点です。一つは、階段下部の5m近い岩肌が迫る、圧迫感のある狭隘部です。現時点でも、岩肌の風化で脆くなった小石等が落下するので、落石危険の立て看板も設置されています。逗子の崩落現場との違いは、岩肌を覆う土砂は無く、岩肌が露出していることです。逗子で起こった崩落した土砂に相当するものがないので、崩落する土砂の量には大きな差がある点です。弱点のもう一つは、階段上部のコンクリート被覆部分が、土台となる基礎の土砂が雨水に流され、傾く傾向があることです。そしてもう一つは、階段通路が長くて人目がないので、防犯上の弱点を有することです。

今回の臨時点検では、道路河川課との協議の下、従来より大きな落石注意の立て看板を階段の必要箇所に設置して、当面の急場を乗り切っていこうとなりました。

その弱点对策に別途取り組んできたのが、日の出園脇道階段を教育委員会教育総務課や学校教育課の後押しで、坂道階段を補修し、脇の樹木を伐採し見通しをより良くする計画です。上記の要望は、南郷中学校・仙光院・葉桜自治会の三者で提出しました。もしこの予算が3月議会で承認されれば、来年度当初に整備が行われ、正式に通学路指定することができます。

まずは、予算が通るかどうが見守っていきたいと思います。

今後も、通学路の課題については、事態の変化を追いながら、しっかりと考えていく必要があると考えています。



◆◆ 1学年の意見文発表会に参加しました。 ◆◆

1学年集団がどれほど成長しているかを確認できる良い機会だったので、大変楽しみに参加させて頂きました。

一言で言えば、頼みになりそうない集団。次の南郷中を背負っていける集団に育ってきているなど感じる事が出来ました。

今回の発表会から、その意見文がどんな点（根拠・証拠があるから、論の展開筋道がしっかりしているから、言葉を大事にしているから、伝えたいエネルギーがあるから等）で光っているのを見抜き、自分の意見文に活かしていきましょう。と伝えると、みんな真剣に耳を傾けて学び取ろうとしていたからです。

しっかりとした集団に育ってきているのだと感じ、嬉しく思いました。



◆◆ 2学年の旅行的行事を大きく組み替えました。1・3年は計画通りに実施予定です。 ◆◆

2学年のバス旅行を一旦キャンセルすることはお伝えしていましたが、13日が再契約の最終回答期限日でしたので、旅行業者に「東京班別行動」をとりやめ、バス予約はしないことを正式に伝えました。

東京班別行動は、第五福竜丸見学という重要な平和学習と、修学旅行に備えた上野公園への班別自由行動という要素で構成していました。今回上記を断念したことを受け、班別自由行動の経験を積んでおくため、「横須賀観音崎への班別行動」を代替行事として行う予定です。チェックポイント（集合地点）である観音崎へは、葉山（逗子）から行くルートが複数考えられます。それらのどれを選択しても良いから、集合場所の観音崎にたどり着く班別行動を経験してもらいたいと考えています。「観音崎班別行動」も、JR或いは京急線、そして路線バスを利用するため、不特定の他者との接触は起こります。しかし、東京班別と比してそのリスクは下げることが出来ると判断しました。今回、バス予約（キャンセル料）に縛られない計画に変更になったので、期限は基本的にはないのですが、今後、ご家庭の自主的な判断で欠席される場合はその旨事前連絡を、必ず2月25日までをお願いします。

なお、18日現在、1年・3年のバス利用による旅行的行事において、自主的に参加を取りやめたご家庭はありませんでした。本日までに自主的な不参加表明が、参加人数の1割程度に達していれば、行事の中止も視野に入れておりましたが、行事は実施の方向でバスキャンセルは行いません。

本日以降、これらの行事の中止を決めるとしたら、国或いは県等から「行事实施に対する中止要請」或いは、それらと同等の勧告のようなものが出た場合となります。それらが出ない限り、「実施」が基本的な判断となります。もちろん本日以降も「自主的な不参加」をお伝え頂くことは構いませんが、旅行会社との約款に基づくキャンセル料は頂くこととなりますことについては、何卒ご理解ご容赦下さい。

◆◆ 紙面が余りましたので、卒業文集に寄稿した文章を紹介させて下さい。 ◆◆

人の生き方はそれぞれで、人の目が気になって、結局、自分を抑えて目立たないようにするのが楽という处世術を選ぶ人もいれば、逆に動画等で目立つ必要から、方向を間違えて社会罰を受ける人もいます。もっと自分の中に信念を培って生きていくことは出来ないでしょうか。

南郷中では校歌を大きな声で歌い上げる伝統があります。それが出来る学校と、出来ない学校との学校生活の充実感や幸福感には大きな差があります。教師に言われたからではない、君たち生徒諸君が作り上げた幸福感は、宝物だったはずです。

でもこの先、進学先の校歌を声に出せますか。目立ってしまうプレッシャーで南郷中での経験を活かせない人もいるはずです。それはもったいないことです。声の出ない人の中で、はっきりと声を出して校歌を歌うあなたの姿は、実はとても光り輝く、憧れの姿で周囲の人に映っているのです。南郷中プライドを持ったあなたは、次の種をまくオピニオンリーダーなのです。君たちは素晴らしい資質を持った南郷中卒業生なのです。

卒業おめでとう、そしてその良さを大切にこれからの人生も頑張っていこう。さあ翔べ光の中へ！

という内容です。卒業生に限らず受け止めて欲しいなという思いで伝えています。

私が南郷中学校に赴任して初めて生徒に語りかけた話が、「自分は校歌を大きな声で歌うことが好きです。だからこそ南郷中学校の生徒のみなさんを尊敬しています。」という内容でした。今でも、自分が絡んだ学校の校歌や応援歌なら歌えます。その自分史を振り返ってみて、校歌や応援歌を大きな声で歌うことが、楽しいし、誇りに思えることを伝えてきたなと思うからです。教師になってからも、自分のクラスはどの代も、ホームソングを楽しく歌って、賑やかなのが有名でした。周りのクラスが声が出なくても、自分たちが先頭に立って、そんな学校を明るく変えてきた思いがあります。

だからこそ、この南郷中学校の素晴らしい経験を知っている皆さんには、プレッシャーのかかることでもオピニオンリーダーとして頑張ってもらいたいなという思いを伝えたかったのです。